



フットケア外来活動の紹介



診療部 糖尿病看護特定認定看護師 濱田

みなさまこんにちは！フットケア外来を担当しています糖尿病看護特定認定看護師の濱田です。今回はフットケア外来を紹介していただけるとのことで大変光栄に思っています。少しずつ皆さんに認知していただけるようになったフットケア外来について少しだけご紹介させていただきます。

ところで皆さん、看護外来ってご存じですか？

県内にもいくつか看護外来はあります。よく耳にするのは鹿児島市立病院の「リンパ浮腫外来」、鹿児島大学病院「がん看護外来」等です。それぞれその分野のエキスパートナースたちが患者さんに看護を提供しています。外来看護は医師の診療と違い患者さんからお金をもらうことはできませんが、病院が患者サービスの質向上のためコストを免除してサービス提供していたり、自費診療として患者さんから高額な対価をいただいたり、そのスタイルはさまざまです。当院のフットケア外来の場合は、循環器の先生方のお力を借りながら外来診療として正規の保険でサービス提供できるように医療事務の皆さんのアイディアや協力のもと運営させていただいています。

（患者さん1人当たりの自己負担額は400円～1200円程度）そのため、コストの面では有益な結果を残すことはできていませんが、患者さんにとってバッドニュースが多い病院で数少ない癒しの空間になっていることは間違いないと患者さんの笑顔を見て確信しています。そんなフットケア外来ではどういうことをしているかというと、（主観ですが）1位は患者さんの愚痴や相談を遮ることなくゆっくり聴くこと、2位は爪切りや胼胝削り、3位は特殊な爪ケア、4位はフットウェアの相談などです。

フットケア外来では1人の患者さんに30分～1時間ほど時間をかけて足浴・爪切りなどのケアをしていきます。そのため、患者さんたちは自然とお話ししてくださるのですが、その話はとても面白く、こちらが癒されることも多々あります。もちろん患者さんもお話することでストレス発散され、通常の看護では味わうことができない人間対人間、人生の先輩から教をいただいているようなとっても有意義な時間を双方向で経験させていただいていると感じています。特殊爪のケアでは、巻き爪ケアや肥厚爪の除去を行います。うちのスタッフの腕はピカ一で、今まで1度も患者さんから苦情をいただいたことはありませんし、日々新しい技術を取り込もうとする前向きな姿勢は、フットケア外来立ち上げから5年経過した今でもずっと持ち続けていて私も脱帽です。（今は巻き爪をジェルネイルで改善する技術を取り入れようか検討中）このようなフットケア外来ですが、予約はいつも2か月先までいっぱい、患者さんに迷惑おかけすること多いのですが、できる限り患者さんの要望に応えていきたいと思ひます。なかなか通常の業務では見ることのできないサロンクオリティーの技術に興味がある方はぜひ一度フットケア外来に遊びに来てください。心よりお待ちしております！

グレースホームへ訪問フットケアを
2か月置きに行っています。

ネイルエイド



巻き爪ロボット



人工爪





ラダーⅢ研修：事例検討（看護実践の評価）9/5・9/14

教育委員 手術室 小浦

看護実践の評価では、認知症高齢者に対するケア事例をもとに、適切な関わりや対応についてグループワークを中心に研修を行いました。

受講者からは、「看護計画に反映させ、個別性のある看護・実践につなげることが出来るよう、その人の習慣や性格の情報を収集し、記録に残したり情報を伝達共有していきたい」等の感想がありました。ユマニチュードの大切さについても改めて学んだ研修となりました。



4階西病棟 勉強会を通して

4階西病棟 藤崎



私の所属している病棟には、脳神経内科と脳神経外科の入院患者が多く、痙攣を起こす方がいます。育休から復帰して間もない頃、受け持ち患者が痙攣を起こして、その後、酸素化が悪くなるなどの状態変化の経験をしました。その際に、スムーズな対応ができず、焦ってしまっていました。今回の勉強会を通して、痙攣時の初期対応やそれぞれの疾患・術後の痙攣出現の可能性や治療など、改めて学ぶことができました。痙攣が起きる前に、前兆として何かしらの症状が出現している可能性があるため、日頃の患者状態の把握や観察を行い、異常の早期発見に努めていきたいと思っています。

「LUCAS」心臓マッサージシステムのご紹介

HCU 松浦

LUCAS（ルーカス）とは



心肺停止となった傷病者に対して、最も重要である「絶え間ない心臓マッサージ（胸骨圧迫）」を一定のリズムと強さで行える機器です。

☆ LUCAS メリットとして ☆



- ✓ 心肺蘇生法の質の向上、胸骨圧迫の中断を最小限に留められる。
- ✓ 両手が自由になるため他の救急活動に集中できる。
- ✓ 病院・病棟間での患者の移送の際にも患者の血液循環を保つことができる。



HCUが定位置となっておりますので、HCUへ足を運び、実際触れてみて下さい。



第25回 骨粗鬆症学会に参加して（9/29～10/1）

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師・回復期リハビリテーション病棟師長 福永

9月29日～10月1日に開催された骨粗鬆症学会に参加しました。
骨粗鬆症は現在10人に1人が罹患している時代ですが、その治療率は約20%とされています。
当院でも橈骨遠位端骨折や脊椎圧迫骨折、大腿骨近位部骨折など骨粗鬆症に起因した骨折の患者さんが多く入院されています。今年度から二次性骨折予防継続管理料を算定していることをご存じでしょうか？現在は、自己注射指導がメインになっていますが、栄養や運動などの生活指導も重要になってきます。まずは、骨粗鬆症マネージャー取得に向け学習し、他マネージャーさんと協働しながら生活指導の基盤を作っていきたいと思います。

第5回 「セル看護推進研究会」に参加して（10/20～10/21）

3階東病棟副師長 満園

福岡県、飯塚病院へセル看護提供方式の講演・演題発表研修に参加しました。
当院も、セル看護提供方式に取り組むようになり早4年が経過し、セル看護提供方式の定着に向けて自己監査・他部署監査、ブロックカンファレンスの状況把握、経過報告会や対策を考え、行動実施していますが、定着までには至っていないところです。研修で他病院の取り組みを聞くことで、当院での活動を考える機会やヒントになりました。
今回の学びを病棟に還元し、PDCAサイクルをまわし、看護の質向上に役立てていきたいと思えます。

第25回 日本褥瘡学会 学術集会に参加して（9/1～9/2）

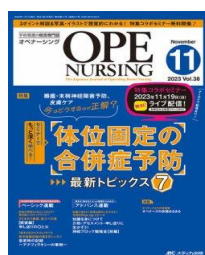
4階東病棟 高野

9/1～9/2の2日間、日本褥瘡学会に参加させていただきました。4階東病棟は、呼吸器内科でもあり癌性疼痛のコントロールが必要な患者に携わる機会があります。疼痛コントロールが必要な患者は、鎮痛剤や医療用麻薬を服用していることが多いです。講義の中で鎮痛剤の服用に伴い、自身の痛み鈍感になり皮膚トラブルに気付かず、発見時には大きな褥瘡となっていることも少なくないことを学びました。褥瘡形成にて新たな苦痛を与えることがないようにしっかり除圧、体位調整、食事の摂取状況等確認し、看護師間でも情報共有を心掛けていきたいと思えます。

月刊誌紹介



【外 来】



【手術室】



【4階東病棟】



【P FM】



【看護部】



【看護部】

各部署に専門誌があります。興味のある方は活用してください。



職場体験

れいめい中学校のみなさん



3年ぶりの再開となりました
「実際に看護師の仕事を見て、想像していたよりも大変で驚きました。」「大変なことばかりではなく、看護師のお仕事の楽しさや魅力についても知ることができました。患者さんからありがとうと感謝されたり、患者さんへの声かけひとつにも優しさが込められていて、やりがいのある、すごく素敵な仕事だなと感じました。」「食事の配膳の体験では、患者の皆さんがありがとうといってくれてとてもうれしかったです。」との感想を頂きました。

少しでも看護や医療に興味を抱いて頂ければ嬉しく思います。
病棟スタッフのみなさん ご協力ありがとうございました。



手洗いトレーニング体験



血圧測定体験



食事の配膳体験



口腔ケア見学

マイフォーム



今年6月から3階東病棟に勤務しています梶です。今一番好きなことは御朱印集めです。元々旅行が好きで何か思い出になるものを残せないものかと、7年前に長野の善光寺に行ったのを機に、当時御朱印をいただくことがブームにもなっていて始めました。今では頂いた御朱印の数は御朱印帳8冊にもなります。一人旅した北海道の日本最北の神社の北門神社・薩摩半島南端指宿の龍宮神社・東京オリンピック・各季節の行事の御朱印などいただき、休みの日にはそれを見ながらゆっくり思い出に浸っています。もう一つの楽しみは、御朱印帳のデザインが神社・お寺によって違うので、それを選ぶのも楽しみです。まだまだ楽しみながら続けていこうと思っています。

3階東病棟 梶



<編集後記>

インフルエンザ流行の注意報が発令されています。体調管理を行いながら、今年残り1カ月半を有意義に過ごしていきましょう。
松下

